

2026年2月17日

各位

会社名 日東工器株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小形 明誠
 (コード番号 6151 東証プライム)
 問合せ責任者 取締役 常務執行役員 管理統轄 野口 浩臣
 (TEL 03-3755-9970)

2026年3月期第3四半期 決算補足資料

第3四半期決算ハイライト

新工場稼働に伴うコスト増により減益も、補助金の計上により最終利益は増益

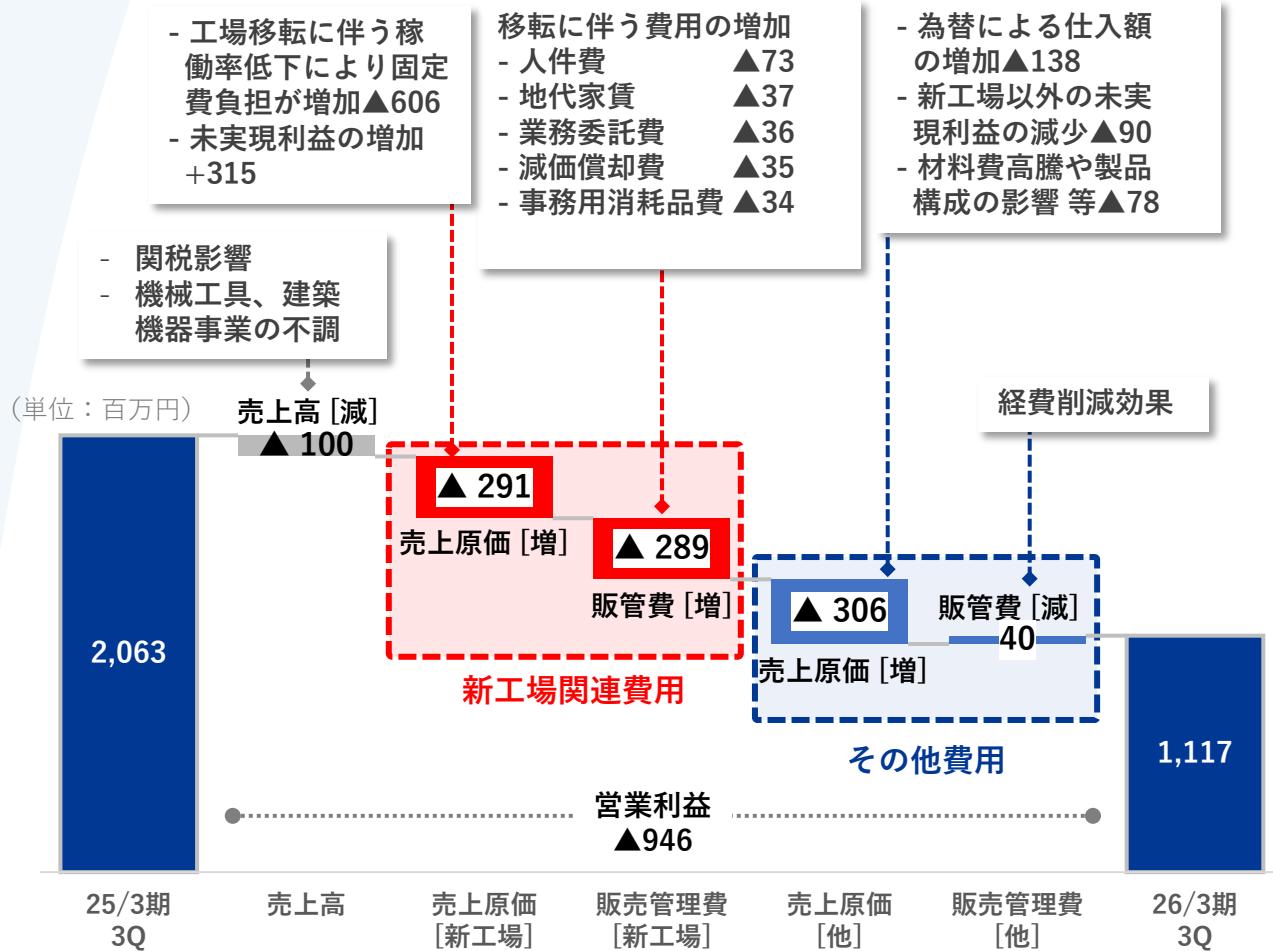
売上高については前年並み水準で推移した一方、新工場稼働に伴う製造原価および固定費の増加により、売上総利益率は43.2%へ低下しました。その結果、営業利益は1,117百万円、経常利益は1,339百万円と前年同期比で減益となりました。

しかしながら、新工場建設に対する補助金収入2,370百万円を特別利益として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,170百万円と前年同期比で増益となりました。

(単位：百万円)	25/3期3Q		26/3期3Q		前年同期比	(ご参考26/2/13修正)	
	率		率			本決算予想値	達成率
売上高	20,307		20,090		-1.1%	27,300	74%
売上原価	10,930	53.8%	11,410	56.8%	4.4%		
売上総利益	9,377	46.2%	8,679	43.2%	-7.4%		
販売管理費	7,313	36.0%	7,561	37.6%	3.4%		
営業利益	2,063	10.2%	1,117	5.6%	-45.8%	1,500	75%
経常利益	2,188	10.8%	1,339	6.7%	-38.8%	1,700	79%
特別利益	-	-	2,370	11.8%	-		
特別損失	107	0.5%	449	2.2%	-		
親会社に帰属する四半期純利益	1,449	7.1%	2,170	10.8%	49.7%	2,500	87%

營業利益增減

米国関税政策の影響および建設業界向け製品の需要減少を受け、減収となりました。また、新工場関連では、工場移転に伴う稼働率低下により売上原価が増加したほか、移転に伴う一時費用として人件費、地代家賃、業務委託費等が増加し、販管費が増加しました。さらに、新工場以外の要因として、経費削減施策の効果により販管費は改善したものの、タイバーツ高による仕入原価上昇および材料費高騰の影響により売上原価が増加し、営業利益を押し下げました。



事業別業績

機械工具および建築機器が赤字転落し、全体の営業減益要因となりました。迅速流体継手およびリニア駆動ポンプも為替影響および需要減速により減益となりました。

迅速流体継手

売上は横ばいで推移している一方、半導体および自動車向け需要が低調に推移し、加えてタイバーツ高による仕入原価の増加により減益。

機械工具

建設業界向け製品の販売減少により減収。消耗品販売の減少に加え固定費比率上昇により、利益は赤字転落。

リニア駆動ポンプ

欧米向けは堅調に推移し増収。一方でタイバーツ高による原価上昇により減益。

建築機器

国内外ともに需要減少により減収。固定費比率上昇の影響もあり、利益は赤字転落。

(単位：百万円)

25/3期3Q 26/3期3Q 前年同期比

売上高			
迅速流体継手	8,914	8,994	0.9%
機械工具	6,399	6,128	-4.2%
リニア駆動ポンプ	3,252	3,359	3.3%
建築機器	1,739	1,607	-7.6%
セグメント利益			
迅速流体継手	1,574	1,412	-10.3%
機械工具	418	-257	赤転
リニア駆動ポンプ	33	28	-15.2%
建築機器	36	-65	赤転

通期業績予想

2026年2月13日に業績修正を開示し、親会社に帰属する当期純利益を上方修正

(単位：百万円)	26/3期通期	前期比
売上高	27,300	0.2%
営業利益	1,500	-36.0%
経常利益	1,700	-32.3%
親会社に帰属する 当期純利益	2,500	85.8%

以上

IRサイト



当社HPのIRサイトでは、株主・投資家の皆様へ積極的に
情報を発信しております。ぜひご覧ください。

<https://www.nitto-kohki.co.jp/ir/>